

柘植地域

# まちづくりだより

## 第304号

### 『健康講演会』開催

【講師】紀平医院・紀平久和院長

【主催】健康福祉部会

紀平医院・紀平久和院長が講師を務める『健康講演会』が今年も3月28日(木)午後、センター・ホールにて開催されました。講演会の前座を宮田会長が務め、自身を紀平医院の厄介な患者と称し、大いに沸かせた後、紀平院長の講演に入りました。

演題は『柘植のまちで元気にすごそう！健康寿命を延ばそう！パートII』と題し、質疑応答も含め、約2時間の講演でした。

講演には58名の方が参加され、参加者の感想(アンケート結果)として、「とても判り易いお話で良かったです」「具体的に判り易くお話し頂いて良かったです」と概ね好評でした。

高齢者の方も多く居られ、日々の健康チェック(血圧・コレステロール値/食事とサプリメント)から、運動(ウォーキング)の重要性等、明解に解説戴きました。様々な質問にも丁寧に回答戴いた次第です。



発行

柘植地域まちづくり協議会事務局  
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地  
(柘植地区市民センター内)

〒五一九一四〇二

電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三

発行日

令和六(2024)年五月一日(水)



### 都美恵神社『例祭』

4月5日(金) 正午  
前「神輿発御・獅子舞奉納」が有り、夕刻「本殿祭」が執り行われました。



参道入口の石造鳥居は鳥居内に納められた青銅塊の陰刻名に拠ると鳥居の建立は寛文12(1672)年2月

柘植地域俳句コーナー  
青柿の  
枝の撓める  
大空屋  
中西 昭子

2日と刻印されており、伊賀市の文化財に指定されています。

【防災／災害時確認訓練について】

4月19日(金)19時～市民センター・ホールに於いて、今年に入って、4回目となる【防災】に関わる講習会を実施しました。

【講師】防災危機対策局・藤田 勝行 次長  
及び、同局・坂本 淳 主任

【講習内容】『災害時確認訓練について』

【出席対象】右記の『講習会』は3月8日に第1回を開催しましたが、当日参加出来なかった方の為に第2回を開催しました。

【対象者】区長、防災委員、初動リーダー 総計63名・第1回の講習会には内50名が参加。2回目の同講習会には計13名が参加。

【講習内容】・『柘植地域自主防災マニュアル』(第1編 ◆防災・減災対策／第2編 ◆災害時安否確認要領／第3編 ◆大規模災害時、避難所運営について)等の項目の中から、要点を抜粋して、マニュアルの読み合わせ・解説・質疑応答を行い、最後に防災委員長を兼務する宮田会長より防災・減災対策の肝の話があり、20時半終了した

次第です。

※過去2年に渡り『防災』に関する講師を務めて戴いた竹岡重貴主査は新年度から、収税課へ異動となりました。代わって新しく防災危機対策局に異動した藤田次長は、住民課から3年振りに同局へ戻られました。(右端手前が藤田さん、奥が坂本さん)



【お知らせコーナー】

柘植の里芭蕉翁を顕彰する会「山出区」

主催「奥の細道」を訪ねて」

【むすびの地フィールドワーク&ブラッシュアップ講座のご案内】▼芭蕉翁生誕380年 記念事業

1、むすびの地フィールドワーク

【日時】令和6年6月8日(土)午前8時 出発(40名程度) 【集合】山出区集議所、又は柘植地区市民センター

【行先】奥の細道むすびの地記念館、他 (岐阜県大垣市) 【参加費】8,000円

2、ブラッシュアップ講座(「むすびの地」での学びをより深める為の講座)

【日時】令和6年6月22日(土)13時半～

【会場】柘植地区市民センター

【講師】中嶋 國博さん(柘植の里芭蕉翁を顕彰する会顧問) 【参加費】無料

※「奥の細道」をめぐる旅や著書「芭蕉讃讚」を通して興味深いお話を聞かせて頂けると思っています。ブラッシュアップ講座だけでも参加可能です。

【参加申込】(むすびの地フィールドワーク)▼事務局・松浦恵子まで電話にてお申込み下さい。【電話】45-764 【締切】5月15日(水)※先着順にて受け付けますが、定員に成り次第締め切らせて頂きます。

## 柘植保育園 『入園式』

令和6(2024)年4月5日(金)、柘植保育園の『入園式』が行われました。  
 「新しく入園した園児の皆さんを入れ現在当保育園には総勢60名の子どもたちが元気一杯に通園して居ます。保育園のモットーは「早寝・早起き・朝ごはん!」です。」と奥出成美園長談。正にその通りです。



## 柘植小学校 『入学式』

令和6年(2024)年4月8日(月)午前中、柘植小学校の『入学式』が行われました。今年度の新入生19名を含め、全校生徒は18名になりました。毎日の学校生活を楽しくみながら「やさしく・かしこく・たくましく」一人ひとりが「自信」をつけていってほしいと「柘植小だより」に書かれています。



## 柘植中学校 『入学式』

令和6(2024)年4月8日(月)午後から、柘植中学校の『入学式』が行われました。伊賀市立9中学校で此の4月から導入されたブレザー型新制服。投票で選ばれたものでボタンも4種類の中から伊賀市の頭文字「I」をイメージしたデザインが人気を集め、18名の新入生が初めて袖を通しました。



【地元企業訪問】第17回

ローソン 野村店

店長 阪崎 佑子 さん

3月27日(水)ローソン・野村店の阪崎店長を訪ねました。へ左が阪崎店長と右横が彼女の息子さん、奥が従業員の林さん



阪崎さんは、ローソン・野村店と佐那具店の2店舗を経営されており、野村で10名、佐那具で20名、両店で延べ30名のパート従業員をシフト勤務で回しているとの事です。

【サークル・教室紹介】第23回

うたごえサークル 代表 柘植美智代

伊賀市介護予防サロン活動の取組みとして杜のカフェいこいこに於いて色々なサロンを開催しています。令和6年度は9サロン80回開催しました。昨年9月より気楽に



集い楽しめる歌声サークルが有ればいいのにといい声が多いという声が多く有りました。なので新しく立上げました。よく知っている唱歌や懐かしい歌を皆で楽しく歌っています。開催日は月一回 第一月曜日、柘植地区市民センターです。

★☆ 編集後記 ☆★

目には青葉山ほととぎす初鯉 山口素堂 そどう

▼寛永19(642)年生誕、享保元年(716)没。

江戸時代前期の俳人。二十歳頃、実家甲斐の酒造業を弟に譲り、江戸に出て林岷峰(林羅山の子息)に漢学を学び延宝3(67)年江戸で初めて松尾芭蕉と一座し、深川芭蕉庵に近い葛飾に在住。芭蕉との親交を深め漢詩文の造詣も深い素堂は芭蕉に大きな影響を与え「蕉風」の成立に寄与したところ大。素堂は葛飾に住んだ為、その門流は葛飾派と呼ばれ、庵号は其日庵。句風は高雅。

▼『芭蕉翁生誕380年』に際し、各種の記念事業が企画開催される本年／「おかえり、芭蕉さん。ふるさと伊賀へ。」のキャッチフレーズで伊賀市は公式ポスターを伊賀市出身のアニメーション作家でイラストレーター古川タクさんに依頼。ポスターのキービジュアル・ロゴキャラクターの「芭蕉くん」が忍者市駅に降り立つ所が描かれて居り、右手には伊賀上野城が見えます。

▼4月1日より、柘植地区市民センターの職員が左記の3名となり業務開始しました。センター長・清水則雄／事務員・川端さおり／生涯学習支援員・長島由明(新任) 引続き宜しくお願い申し上げます。〈清水〉